

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	中学校教育振興管理費
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	6,253	5,932		5,932			5,932	▲ 321
財源内訳	国	200	200	200			200	
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	6,053	5,732		5,732			5,732

事業概要	中学校教育に必要な教材備品等の購入及び体育・文化活動に係る経費を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	中学校教育の目的を遂行するために必要な諸条件を整備し、教育の振興を図る。		
現状と背景	平成24年度から新しい学習指導要領が全面実施された。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	中学校就学援助費
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	9,678	9,272		9,272			9,272	▲ 406
財源内訳	国	185	176	176			176	▲ 9
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	9,493	9,096		9,096			9,096

事業概要	経済的理由により就学困難な生徒に対し、義務教育を受けるために必要な経費を援助する。就学援助費、特別支援教育就学奨励費などを予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	就学に係る必要経費の一部を援助することにより、家庭の経済的負担を軽減する。		
現状と背景	離婚率の上昇、経済不況の深刻化により、就学援助を受ける生徒数の割合は年々増加している。		その他

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	中学校区特色ある学校づくり支援事業補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	600	570		570			570	▲ 30
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
一般財源	600	570		570			570	▲ 30

事業概要	各中学校区にて企画立案した事業に対し、実施のための補助金を交付する。	今年度見直し事項	
事業目的	各中学校区で企画立案した事業を展開することで、特色ある学校づくりが推進できるとともに、よりいっそうの小中連携を図る。		
現状と背景	平成18年度より、積極的でやる気のある学校には定額配分の外、教育長配分を与え、事業の活性化を図っていたが、特色あるという内容まで到達していないのが現状であるため、22年度には定額配分を廃止し、額も減じた。23年度からは、小中連携の推進を図るため、中学校区での取組に限定している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	運動部活動外部指導者推進事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	305	102		102			102	▲ 203
財源内訳	国							
	県	300	100		102		102	▲ 198
	市債							
	その他							
一般財源	5	2						▲ 5

事業概要	中学校の運動部で、顧問が当該種目に関して専門的知識や技術を有しない運動部を対象に、市教育委員会が外部指導者を委嘱・派遣する。指導者の謝金を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	学校教育活動として位置づけられている運動部活動において、地域の専門的指導者を活用することで、地域社会との連携が深まり、運動部活動の活性化が図れる。		
現状と背景	平成20年度より、指導者を招いて、技術指導を行って頂いており、今年度は1人の指導者を予定している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	外国語指導助手招致事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	5,040	5,011		5,011			5,011	▲ 29
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	318	318	318			318	
一般財源	4,722	4,693		4,693			4,693	▲ 29

事業概要	中学校に外国人の英語指導助手1名を配置し、学期ごとに各校を回りながら生徒を指導する。主なものとして、指導助手の人件費などを予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	生徒の国際感覚を養い、異文化理解を深めるとともに、文法だけでなく実際に必要な会話能力を育成する。		
現状と背景	現在の指導助手は23年春に来日、学期ごとに各校を回っている。直接外国人と会話することにより、英語への理解力が高まる。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	中学校コンピューター教育振興事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	5,394	8,399		7,736			7,736	2,342
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	5,394	8,399		7,736			7,736

事業概要	情報教育の基礎を学習するため、中学校のパソコン教室に必要な機器を整備するもので、インターネットの通信料、パソコンのリース料などを予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	パソコン操作の指導を受けるとともに、問題となっている有害サイト等の危険性などについても学習し、情報化社会に対応できる能力を身につける。		
現状と背景	生徒用にパソコン教室に約40台のパソコンを配置し、実際に操作して情報教育の技術を身に付ける。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	中学校図書室職員配置事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,743	2,743		2,743			2,743	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	2,743	2,743		2,743			2,743

事業概要	蔵書整理や読書指導を充実させるため、各学校の図書室に職員1名を配置するもので、職員の賃金などを予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	図書室に専属の職員が配置されることで、速やかな本の検索が可能となる。また、職員との対話の中で生徒の読書に対する興味が強まるなど、読書活動が推進される。		
現状と背景	各中学校に1名職員を配置し、図書の貸出し業務等行う。また、図書室の電算化を行い、他校及び市民図書館の蔵書情報を共有し、蔵書の貸し借りをしている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	国際理解教育推進事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,709	1,692		1,624			1,624	▲ 85
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	1,709						▲ 1,709
一般財源		1,692		1,624			1,624	1,624

事業概要	各中学校から毎年、作文により希望者を選抜し、アジア諸国などに派遣して国際理解と相互理解を体験学習する。交通費、宿泊費、研修経費などを予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	現地の風習に親しみ、見聞を広めることで、国際理解教育の推進を図る。		
現状と背景	平成19年度以前は行き先を中国に限定していたが、対象をアジア各国へ広げ、中学生9人を派遣する予定にしている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	中学生職場体験推進事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	491	447		447			447	▲ 44
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	491	447		447			447

事業概要	少子化等の進展に伴って、社会性の不足、規範意識の低下、人間関係や連帯感の希薄化などが、子どもたちの課題となっている。こういった課題の解消を図るため、中学校2年生全員を対象に、市内事業所での職場体験学習を行い、必要な経費を予算化する。	今年度見直し事項	
事業目的	職場体験することで、望ましい勤労観・職業観が身につく、コミュニケーション能力の向上が図れ、地域への愛情や誇りを持つことができるなど、課題の解消につながる。		
現状と背景	中学2年生全員が対象、事業所の選定、体験学習の依頼、職場体験後のお礼といったことも生徒へ対応させている。23年度から3校が同時期に一斉に職場体験学習を実施することとした。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	中学校各種競技大会参加費補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	4,902	4,657		4,657			4,657	▲ 245
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	4,902	4,657		4,657			4,657

事業概要	県総合体育大会・県中学校吹奏楽コンクールなど、出場選手を各種大会に派遣するために必要なバスの借上げ料を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	各種大会での体験を通じて、協力や協調性を学ぶなどの教育効果が期待できるとともに、本市における体育文化活動の振興を図ることができる。		
現状と背景		その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	鳥取県中学校文化連盟負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	12	12		12			12	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
一般財源	12	12		12			12	

事業概要	鳥取県中学校文化連盟加入のための負担金	今年度見直し事項	
事業目的	鳥取県中学校文化連盟が主催する各種大会に出場するための負担金を支払う。		
現状と背景		その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	鳥取県中学校体育連盟負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	414	416		416			416	2
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
一般財源	414	416		416			416	2

事業概要	鳥取県中学校体育連盟加入のための負担金	今年度見直し事項	
事業目的	鳥取県中学校体育連盟が主催する各種大会に出場するための負担金を支払う。		
現状と背景		その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	中国大会等参加費負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	96	159		159			159	63
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
一般財源	96	159		159			159	63

事業概要	中西部地区大会、中国大会、全国大会に出場するための負担金。	今年度見直し事項	
事業目的	中西部地区大会、中国大会、全国大会に出場するための負担金を支払う。		
現状と背景		その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	財団法人自治体国際化協会負担金(外国語指導助手)
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	104	98		98			98	▲ 6
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
一般財源	104	98		98			98	▲ 6

事業概要	英語指導助手を招致するために、財団法人自治体国際化協会に支払う負担金。信頼のおける英語指導助手を招致するために同協会に依頼している。	今年度見直し事項	
事業目的	英語指導助手を招致するために、財団法人自治体国際化協会に負担金を支払う。		
現状と背景	平成23年度に英語指導助手が交代している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	中学校未来を拓くスクラム教育推進事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	433	455		455			455	22
財源内訳	国							
	県	433	455	455			455	22
	市債							
	その他							
	一般財源							

事業概要	一中校区内の幼稚園、保育所、小中学校、高校で校種の枠を超えた相互交流を実施。学力の向上、生徒指導の充実、正しい生活習慣・学習習慣の形成を図る。	今年度見直し事項	
事業目的	一中校区内の幼稚園、保育所、小中学校、高校で校種の枠を超えた相互交流を実施。学力の向上、生徒指導の充実、正しい生活習慣・学習習慣の形成を図る。		
現状と背景	幼保小中のみならず、高校も含めた交流を実施している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	中学校教師用教科書・指導書購入事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	5,555	807		807			807	▲ 4,748
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
一般財源	5,555	807		807			807	▲ 4,748

事業概要	平成24年度からの新学習指導要領完全実施に伴い、教科書及び指導書が全面改定されるため、購入する。	今年度見直し事項	
事業目的	授業づくりに向けての単元構成の工夫、学習計画の立案、教材研究・評価等の充実のための参考とする。		
現状と背景	教科書の全面改訂により、通常学級、特別支援学級とも全ての教科についての購入を実施したが、英語については毎年入れ替わりが必要であり、特別支援学級についても在籍する生徒の学年が上がるため、追加購入が必要となる。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	少人数学級を活かす学びと指導の創造事業
補助単独の別	県補助金

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		420		420			420	420
財源内訳	国							
	県		420	420			420	420
	市債							
	その他							
	一般財源							

事業概要	小中学校全学年で実施する少人数学級の利点を活かして、第二中学校区で授業改革の研究実践を展開し、児童生徒の「活用する力(思考力・判断力・表現力)」の育成や「内発的な学習意欲」の向上を図り、学びの質を高める。	今年度見直し事項	
事業目的	小中学校全学年での少人数学級実施に伴い、これからの時代を生き抜いていく子どもたちに必要な思考力や判断力、表現力を育むとともに、子どもたちの内発的な学習意欲を高めていくため、授業改革に取り組み、子どもたちの学びの質を向上させる。		
現状と背景	鳥取県では全国に先駆け、今年度から義務教育9年間の全学年で少人数学級を実施しており、本市では第二中学校区でこの事業を活用し、学力の向上に繋がりたいと考えている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	中学校よりよい学級づくり事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		898				898	898	898
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		898			898	898	898

事業概要	hyperQUという児童生徒心理テストを年2回(5月、10月)行い、自分の所属する学級における満足尺度を特定し、その満足尺度に合わせた指導や支援を個々の教育相談で行い、いじめや不登校の早期発見・早期対応にかか。	今年度見直し事項	
事業目的	生徒の学級に対する満足度の尺度とし、不登校・いじめの早期発見・早期対応につなげる。		
現状と背景	大津市での事件以降、全国的にもいじめ問題がクローズアップされているが、実際に発見することは容易ではなく、本市でも苦慮している。また、不登校生徒数も決して少なくはないため、減少に役立てたい。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	中学校学力向上事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		377				377	377	377
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		377				377	377

事業概要	中学校2年に国語・数学・英語のCRT学力調査を行い、生徒の学力定着の度合いを把握することで、今後の教師の指導方法や重点単元の割出等に活用する。	今年度見直し事項	
事業目的	「基礎・基本の確実な定着」の評価を生徒の学習指導に役立てる。		
現状と背景	本市の生徒の学力は平成24年度学力状況調査にて、国語・数学ともに全国の平均を下回っており、学力の着実な定着が喫緊の課題となっている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費

所管課	教育総務課
事業名	中学校PTA連合会活動補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		100		100			100	100
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		100		100		100	100

事業概要	本市中学校のPTA活動を促進し、教育の振興を図るため補助金を交付する。	今年度見直し事項	
事業目的	本市中学校のPTA活動を促進し、教育の振興を図るため補助金を交付する。		
現状と背景		その他	